

# S/F REAL4

## Q&A

【加工図・型紙・帳票、管理資料】

 あいホールディングスグループ 

株式会社 **ドットウェル** ビー・エム・エス

**DATA LOGIC**



## 加工指示書の出力内容を確認したい！

一覧でダブルクリックするとプレビューを表示します。

【加工図・型紙・帳表】－【加工指示書】より、確認したい柱や梁の行をダブルクリックします。

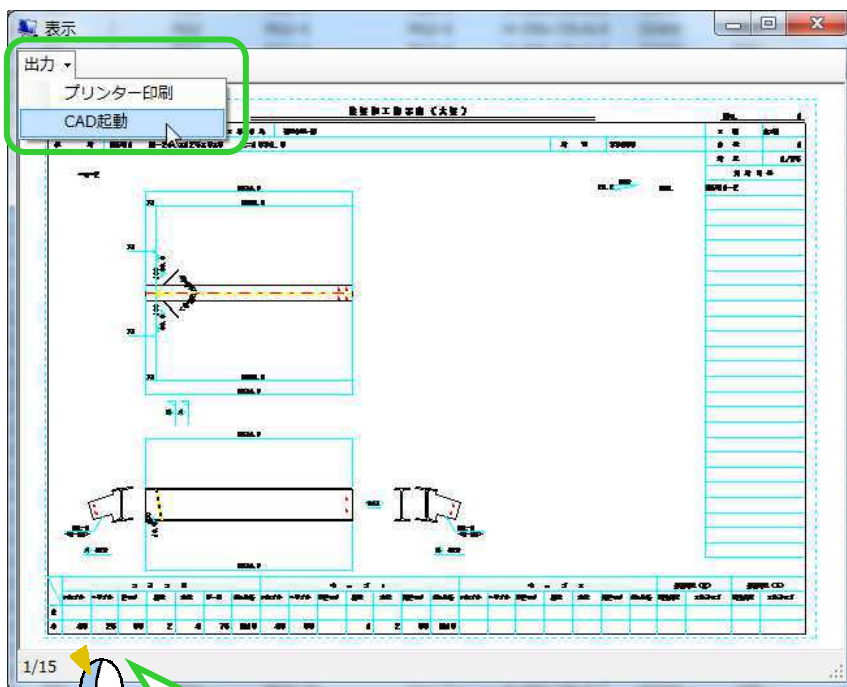
ホーム		オプション													
コア	仕口	柱梁	組立	ブレース	ブレース	ブラケット	キープラン	集約	一括	出力切替	集約切替	出力済解除	出力	画面表示	終了
加工指示書			加工図			組立図			変更						

No	出力済み	区分	工区	階	節	部材名	符号名	サイズ	材質	全長	ちぢみしろ	分類	塗装
49		大梁	<無>	RSL	1	RCG1	RCG1-1	H-250x1	SS400	1634.9	0	<無>	<無>
50		大梁	<無>	RSL	1	RCG1	RCG1-1	H-250x1	SS400	1634.9	0	<無>	<無>
51		大梁	<無>	RSL	1	RCG1	RCG1-2	H-250x1	SS400	934.6	0	<無>	<無>
52		大梁	<無>	RSL	1	RCG1	RCG1-2	H-250x1	SS400	934.6	0	<無>	<無>
53		大梁	<無>	RSL	1	RCG1	RCG1-3	H-250x1	SS400	1634.9	0	<無>	<無>

選択した柱、梁のプレビュー画面を表示します。

画面左下をダブルクリックして、画面左上に表示される【出力▼】をクリックするとプリンター印刷か、CAD起動かを選択できます。



画面左下をダブルクリックします。  
縮尺を表示します。



### プリンター印刷

印刷設定が起動します。

### CAD 起動

F5 ファイルに出力し、  
Arris が起動します。

- ファイル出力先  
SFSysstem¥SF REAL4
- 出力ファイル名  
Test.F5



その他の加工指示書、  
母屋胴縁加工図も同様です。

## 追加・修正になった梁のみ加工図を出力したい！ グループ設定をして絞り込み、出力を行います。

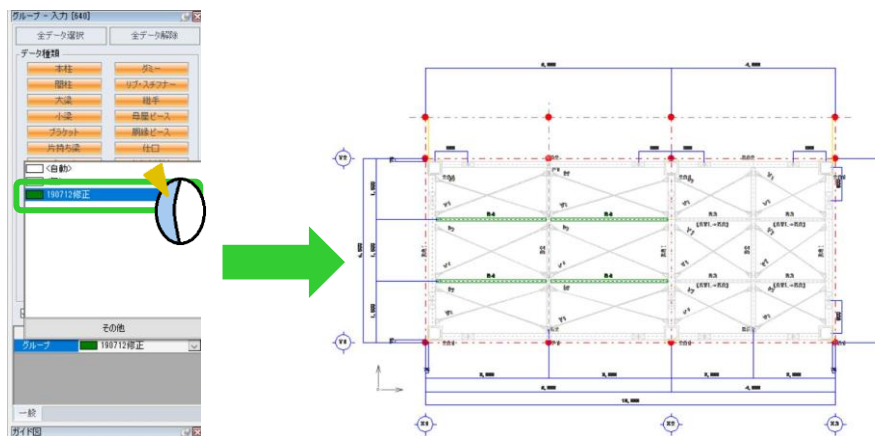
梁を追加・修正後、【工区・塗装】 - 【グループ】 - 【設定】をクリックします。

グループ設定画面で追加をクリックし、名称と色を設定しOKをクリックします。



【グループ】 - 【入力】をクリックします。

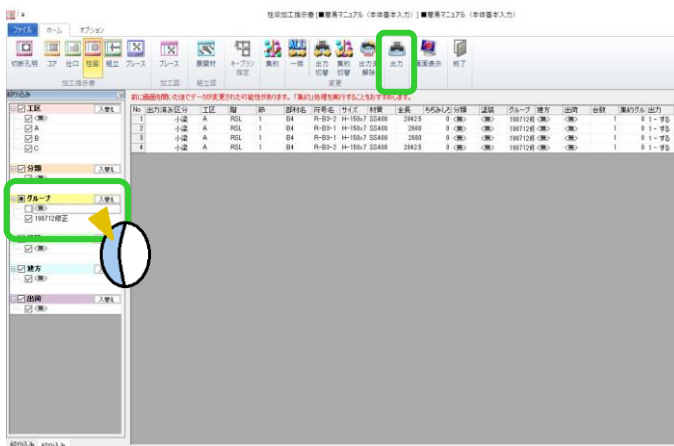
画面右側で作成したグループを選択し、追加・修正した梁をクリックして割り当てます。



グループ入力した部材は、  
グループ設定で選択した色に  
変わります。  
今回は緑色に変わります。

【加工図・型紙・帳表】 - 【加工指示書】をクリックし、出力したい加工指示書を選択します。

画面左側【絞り込み】 - 【グループ】で追加・修正した梁に割り当てたグループ名にのみチェックを付けて出力します。



【工区・塗装】 - 【工区】、【建方】、【塗装】、  
【分類】、【出荷】でも、グループと同様に設  
定を行い、部材に割り当てると、絞り込んで  
加工図や帳表を出力することが出来ます。



## 加工指示書の縮尺を指定したい！

縮尺を入力することで、指定値で出力されます。

【加工図・型紙・帳票】 - 【加工指示書】を選択し、出力する加工指示書を選択します。



【オプション】 - 【表示項目切替】を選択し、

【縮尺】にチェックを入れてOKすると

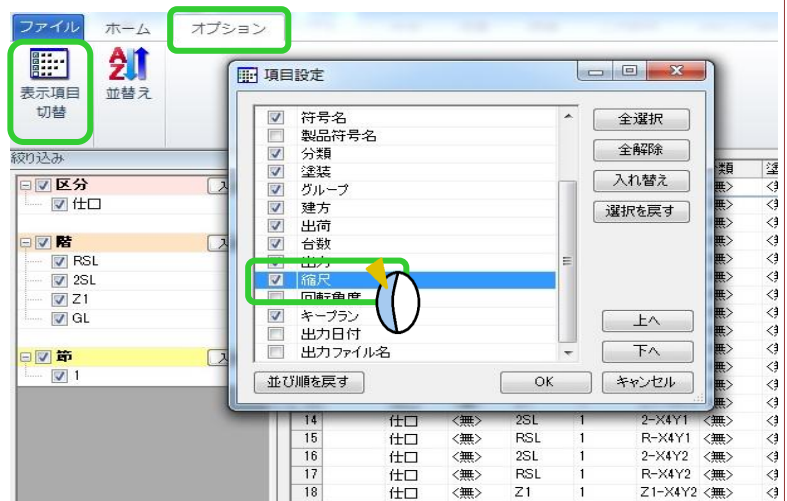
縮尺が一覧の項目に表示されます。

縮尺の値を入力することで、

加工指示書の縮尺を指定することが出来ます。

0の場合は、自動で図枠に納まるよう作図をします。

台数	出力	キープラン	縮尺
1	1 - する	X1Y1	30
1	1 - する	X1Y1	0
1	1 - する	X1Y2	0
1	1 - する	X1Y2	0
1	1 - する	X2Y1	0
1	1 - する	X2Y1	0
1	1 - する	X2Y2	0
1	1 - する	X2Y2	0
1	1 - する	X3Y1	0
1	1 - する	X3Y1	0



### 一括で縮尺を変更する場合

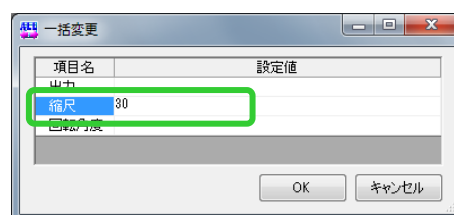
No.の上でクリックをして、

全体を選択後に画面上で右クリックします。

【一括変更】を選択し縮尺を入力、

OKをクリックしてください。

No.	出力済み区分	工区	階	節	符号名	分類	塗装	グループ	建方	出図
1	仕口	<無>	2SL	1	2-X1Y1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
2	仕口	<無>	RSL	1	R-X1Y1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
3	仕口	<無>	2SL	1	2-X1Y2	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
4	仕口	<無>	RSL	1	R-X1Y2	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
5	仕口	<無>	2SL	1	2-X2Y1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
6	仕口	<無>	RSL	1	R-X2Y1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
7	仕口	<無>	2SL	1	2-X2Y2	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
8	仕口	<無>	RSL	1	R-X2Y2	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
9	仕口	<無>	2SL	1	2-X3Y1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
10	仕口	<無>	RSL	1	R-X3Y1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
11	仕口	<無>	2SL	1	2-X4Y1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
12	仕口	<無>	RSL	1	R-X4Y1	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
13	仕口	<無>	Z1	1	Z1-X4Y2	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
14	仕口	<無>	2SL	1	2-X4Y2	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
15	仕口	<無>	RSL	1	R-X4Y2	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
16	仕口	<無>	2SL	1	2-X4Y2	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
17	仕口	<無>	RSL	1	R-X4Y2	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>
18	仕口	<無>	Z1	1	Z1-X4Y2	<無>	<無>	<無>	<無>	<無>





## 切断孔明加工指示書に支持ガセットの孔を表示させたい！ 使用する用紙ファイル編集より中間穴を作図させることが可能です。

【加工図・型紙・帳表】 - 【加工指示書】を開きます。

【切断孔明】を選択した状態で【ファイル】 -

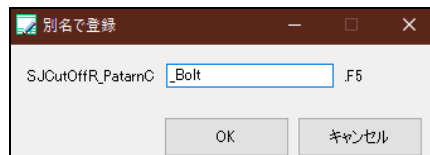
【使用する用紙ファイル編集】をクリックします。



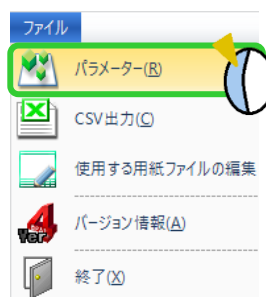
使用したい雛形ファイルを選択し、57) 中間穴の作図にて【2-する】もしくは【3-する(全て)】を選択します。

【作図関係】		
51	端部拡大図の縮尺 [DefaultScaleTanbu]	10 0=自動
52	上図と下図の隙間 [MargeH_Space]	50 0=自動
53	上下フランジ図とウェブ図との距離 [MargeH_Space2]	自動 0=自動
54	径表示 [BoltKeiViewMode]	1 - パラ参照 パラ参照=共通パラメーターの径表示
55	下フランジ図の描画 [UnderFLGView]	2 - する
56	下フランジ図の描画位置 [UnderFLGPlacePos]	1 - 左右
57	中間穴の作図 [RealAndHoleView]	2 - する
58	設定値以下の長さの部材を全長作図 [RealViewLength]	500

【別名で登録】をクリックし、名前を付けて雛形ファイルを保存、使用する用紙ファイル編集を終了します。



【ファイル】 - 【パラメーター】をクリックし、加工図パラメーターを開きます。



1) 使用する用紙ファイルより、先ほど別名で登録した雛形ファイルを選択、パラメーターを保存して終了します。

項目名称	設定値
1 使用する用紙ファイル	S.JCutOffR_PatarnC_Bolt.F5
2 フォルダー名	加工図

切断孔明加工指示書を出力すると、支持ガセットや穴セットで指定した中間加工の孔が作図されるようになります。



### 中間穴の作図

1-しない…中間穴の作図をしません



2-する…中間穴のないものは1-しないと同等の作図がされます



3-する(全て)…中間穴の有無に関わらず2-すると同等の作図されます

※全て実寸(全長)作図になります

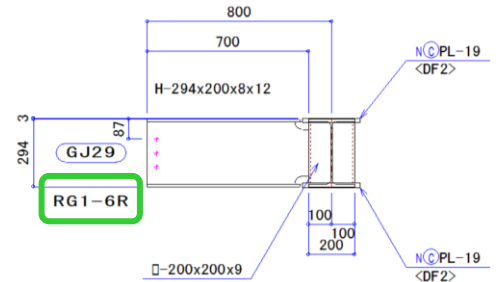






## 仕口加工指示書にブラケット符号名を表示させたい！

「パラメーター」で設定ができます。



【ファイル】 - 【パラメーター】 をクリックします。

【加工図作成】 - 【24.仕口加工指示書-柱詳細図】 - 3) ブラケット符号 の  をクリックし、  
ブラケット符号設定画面で『鋼材符号名 (#2)』 に設定してください。

**ファイル**

- 工事管理
- 保存
- パラメーター**
- データ再構築
- レイヤー設定

作図パラメーター設定(工事名: Step3 入力テスト1)

印刷 工事別 共通 項目別読み込み 書き込み 書き込み すべて展開 すべて表示 指定表示 指定表示設定 検索 終了


お気に入り履歴 お気に入りに追加 お気に入りデータの並び替え お気に入り設定 工事別パラメーター: 24 仕口加工指示書 - 柱詳細図

項目名称	設定値
1 作図間隔4<mm>	0
2 符号 サイズ出し方法	2 - 角度付きのみ
3 <b>ブラケット符号</b>	<b>#1</b>
4 継手マーク位置	1 - ボルトのみ
5 梁継手	1 - ボルトのみ
6 梁継手マーク位置<mm>	0
7 仕口接続部材寸法基準	1 - 通り
8 継手ボルト情報	1 - なし
9 通りマークの前後名	1 - 通り名
10 柱フランジ面表示	2 - あり
11 ブラケット勾配寸法	2 - あり
12 ブラケットサイズ表示	1 - 鋼材表記
13 ボルト第1穴寸法	2 - あり
14 ピン接ボルト第1穴寸法	2 - あり(柱面)
15 既製品プレースの位置寸法	2 - あり

ブラケット、溶接梁、溶接胴縁の符号の表示方法を選択します。

#1: 部材名 #2: 鋼材符号名

使用例: #2 (#1)



ブラケット符号設定

#2

・漢字、アルファベットも入力可能です。

部材名(#1) **鋼材符号名(#2)**

- ( ) < > クリア

OK キャンセル



パラメーターは仕口加工指示書出力画面内のファイルからも開くことができます。

加工指示書出力画面からパラメーターを開いた場合は加工指示書関連のパラメーターのみ表示されます。

仕口加工指示書

**ファイル**

- パラメーター(R)**
- CSV出力(Q)
- 使用する用紙ファイルの編集
- バージョン情報(A)
- 終了(X)

**加工図作成**

工事別パラメーター

- 19.加工指示書・検査表 共通パラメーター
- 20.切断孔明加工指示書
- 21.コア加工指示書
- 22.仕口加工指示書
- 23.仕口加工指示書 - 詳細図全般
- 24.仕口加工指示書 - 柱詳細図
- 25.柱梁加工指示書
- 26.組立加工指示書
- 27.組立加工指示書 - 詳細図全般
- 28.組立加工指示書 - 柱詳細図
- 29.プレース加工指示書
- 30.プレース加工図
- 31.展開材組立図
- 33.検査表
- 36.柱切断明細図



## 柱梁加工指示書で符号名の隣に表示している数字は何？ 番号で方位を示しています。

柱梁加工指示書の鋼材符号名の左側（階高名称の右側）に 1～4 の番号が表示されています。

		鋼 材 符 号			鋼 材 符 号
1FL	1	2G1-1L	1FL	4	2G1-1R
1FL	2	2G1-1L	1FL	4	2G1-1R
1FL	2	2G1-1L	1FL	3	2G1-1R
1FL	1	2G1-1L	1FL	3	2G1-1R
1FL	2	2G1-1L	1FL	3	2G1-1R
1FL	1	2G1-1L	1FL	4	2G1-1R
1FL	1	2G1-1L	1FL	3	2G1-1R

これはパラメータで設定されている方位の番号です。

【作図パラメータ】 - 【図面作成】 - 【2.マーク・寸法線】 - 5) 方位記号 北～8) 方位記号 東 で設定します。

パラメータの初期値は、北→2、西→3、南→4、東→1 です。

日本語やアルファベットにも書き換えも可能です。

	項目名称	設定値
1	図面タイトル	1 - 図面名のみ
2	材質マークスタイル	1 - 図形
3	方位ファイル	方位.f5
4	北方向角度(度)	0
5	方位記号 北	2
6	方位記号 西	3
7	方位記号 南	4
8	方位記号 東	1



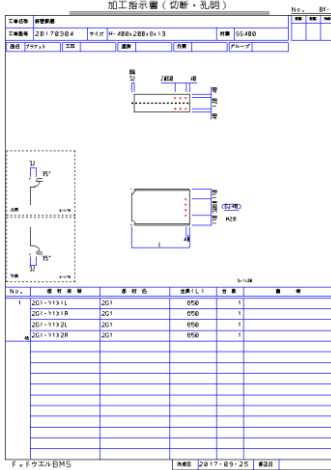
方位記号は、ブラケットの符号名として使用することもできます。

自動設定符号名ルール

工区	階認識符号	節	分類	塗装	グループ	部材名	現在の符号名	通しカウント
工区別カウント	階認識符号別カウント	節別カウント	分類別カウント	塗装別カウント				
グループ別カウント	部材名別カウント	キープラン交点	中央梁符号+LR	方位記号				
始点接続(キープラン交点)	始点接続(梁に沿っている通り)	始点接続(梁と交差する通り)						
終点接続(キープラン交点)	終点接続(梁に沿っている通り)	終点接続(梁と交差する通り)	長さ					
製品符号名	製品符号名別カウント							



## 切断孔明加工指示書の寸法文字の大きさを変更したい！ 加工指示書の用紙ファイルを Arris3 で変更すれば可能です。

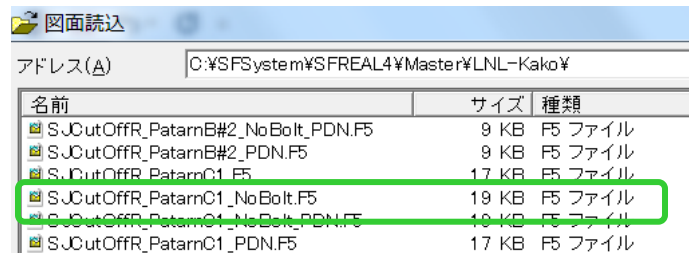


左図「SJCutOffR\_PatarnC1\_NoBolt.F5」の場合

【Arris3】 - 【図面読込】 より使用している用紙ファイルを読み込みます。

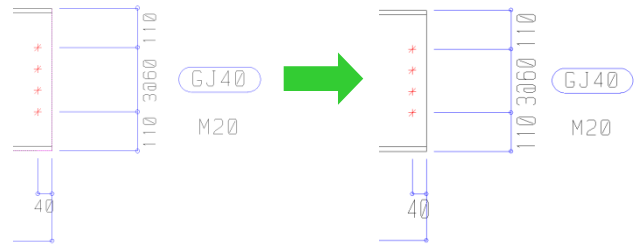
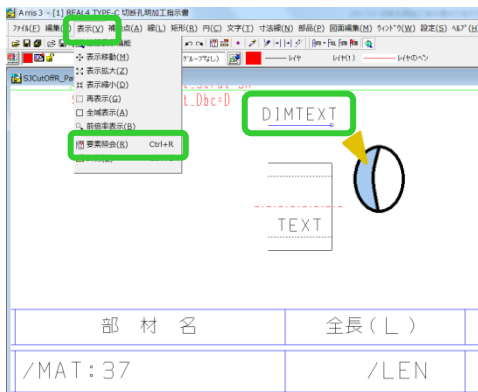


ファイル保存場所は通常 C または D ドライブ内の  
SFSsystem¥SFREAL4¥Master¥LNL-Kako¥となります。



【表示】 - 【要素照会】 で、  
『DIMTEXT』をクリックして

【高さ】【幅】を変更します。



【ファイル】 - 【名前を付けて図面を登録】 で用紙ファイルを保存します。

ファイル名は「SJCutOffR\*\*.F5」で固定になりますので、「SJCutOffR」以降に追加で名称を入力して下さい。  
現在使用している用紙ファイルの確認および使用する用紙ファイルを変更する場合は、【作図パラメーター】 - 【加工図作成】 - 【20.切断孔明加工指示書】 → 1) 使用する用紙ファイル で選択して下さい。



変更した用紙ファイルを常に使用したい場合は、共通パラメーターに保存して下さい。



## 切断孔明加工指示書のNo欄に表示される台数を大きくしたい！ 加工指示書の用紙ファイルを Arris3 で変更すれば可能です。



上記と同様に、使用している用紙ファイルを  
Arris3で読み込み、【要素照会】で  
No 欄内にある『/NDI』をクリックし、  
【高さ】【幅】を変更します。



# ハンチのビルド材を展開し組立図を出力したい！ パラメーターで設定することが出来ます。

【ファイル】 - 【パラメーター】 をクリックします。

【データ作成】 - 【37. 柱、梁作成関連】 - 29) 垂直ハンチプレート展開 ビルド材 の設定を『4-プレート展開』に設定しパラメーターを保存します。

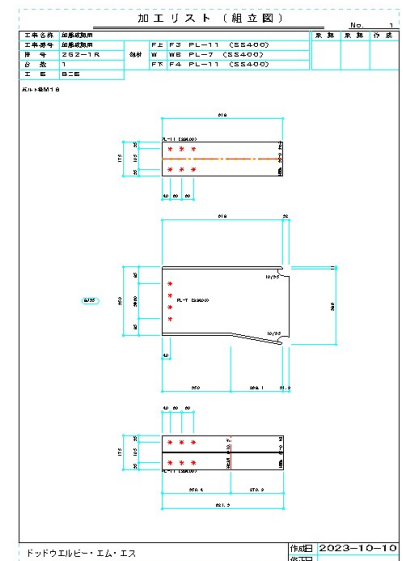
項目名称	設定値
25 梁側継手基準位置	2-梁芯
26 垂直ハンチ外基準	2-柱面
27 仕口に取り付くピン梁の位置	3-接続部材面(下位互換用)
28 垂直ハンチプレート展開 ロール材	2-鋼材・三角プレート展開
29 垂直ハンチプレート展開 ビルド材	4-プレート展開
30 鋼材・三角プレート位置(mm)	30
31 鋼材・プレート2枚位置(mm)	30
32 ウェブハンチ設定	【16, 0.4, 0.3】
33 垂直ハンチ合せ(mm)	125
34 欠配時側継手距離	1-実長
35 欠配時側継手位置	1-上面
36 梁欠配基準	1-梁欠配
37 けた梁高さ	3-柱芯
38 梁転び	4-垂直(梁)※開始側
39 フランジ角面取り基準	2-ウェブ板厚面
40 フランジ角面取り間隔(mm)	0

【加工図・型紙・帳表】 - 【加工指示書】 をクリックします。

【展開材】 をクリックし加工図を出力してください。

No	出力済み	区分	工区	階	節	部材名	符号名	サイズ	材質	全長	分類
1		ブケット	A工区	RSL	1	RG2	RG2-1L	BH-300x	SS400	650	<無>
2		ブケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-2L	BH-351	SS400	650	<無>
3		ブケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-2R	BH-351	SS400	650	<無>
4		ブケット	A工区	RSL	1	RG2	RG2-3L	BH-351	SS400	650	<無>
5		ブケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-3R	BH-351	SS400	650	<無>
6		ブケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-4L	BH-351	SS400	650	<無>
7		ブケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-4R	BH-351	SS400	650	<無>
8		ブケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-1R	BH-377	SS400	650	<無>
9		ブケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-1R	BH-400	SS400	650	<無>
10		ブケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-2L	BH-400	SS400	650	<無>
11		ブケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-2R	BH-400	SS400	650	<無>
12		ブケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-3R	BH-400	SS400	650	<無>
13		ブケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-4L	BH-400	SS400	650	<無>
14		ブケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-4R	BH-400	SS400	650	<無>

<パラメーター設定後>



部材材種が BH の場合、  
マスター登録時にプレート展開部材  
の設定をすることができ、  
『1-パラメーター参照』以外の設定  
をする場合はマスターの設定を  
優先し展開方法が決まります。

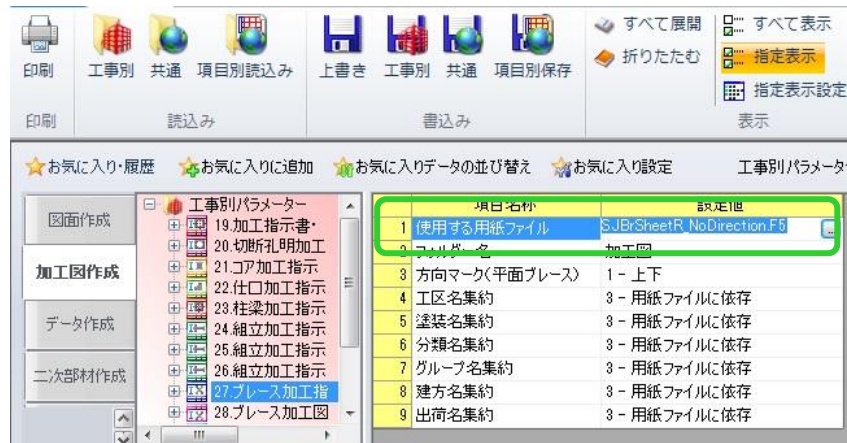
プレート展開部材	1-パラメーター参照
ハンチWEB形状種類	1-パラメーター参照
梁側WEB幅	2-鋼材扱い
ハンチWEB梁側	3-プレート扱い(鋼材符号)
	4-プレート扱い(型紙図番)



ハンチ部分に三角プレートの設定をしたい場合は  
パラメーターの設定【データ作成】 - 【37. 柱、梁作成関連】  
28) 垂直ハンチプレート展開 ロール材、  
29) 垂直ハンチプレート展開 ビルド材 の設定を  
『2. 鋼材・三角プレート展開』もしくは  
『3. 鋼材・プレート2枚展開』に設定して頂き、ウェブ  
切り込み位置の設定は 30) 鋼材・三角プレート位置(mm)、  
31) 鋼材・プレート2枚位置(mm)で設定を行ってください。



**ブレース加工指示書で同じ部材なのに分かれて出力される！**  
**パラメーターで使用するファイルの変更ができます。**



### 【作図パラメーター】

加工図作成 - 27.ブレース加工指示書 - 1) 使用する用紙ファイル を『SJBrSheetR\_NoDirection.F5』に変更して下さい。

工区名	作業用紙ファイル	工区名	作業用紙ファイル
工区 V	FB, B-16	工区 V	SNR400B

工区名	作業用紙ファイル	工区名	作業用紙ファイル
工区 V	FB, B-16	工区 V	SNR400B

工区名	作業用紙ファイル	工区名	作業用紙ファイル
工区 V	FB, B-16	工区 V	SNR400B

SJBrSheetR.F5

SJBrSheetR\_NoDirection.F5



初期設定では『SJBrSheetR.F5』になっています。

SJBrSheetR.F5 は、右に傾いているものと、左に傾いているものを分けて出力する形式ファイルです。

# 母屋胴縁加工図を簡略作図する際、ボルトの絵を大きくしたい！ 使用する用紙ファイルの編集で可能です。

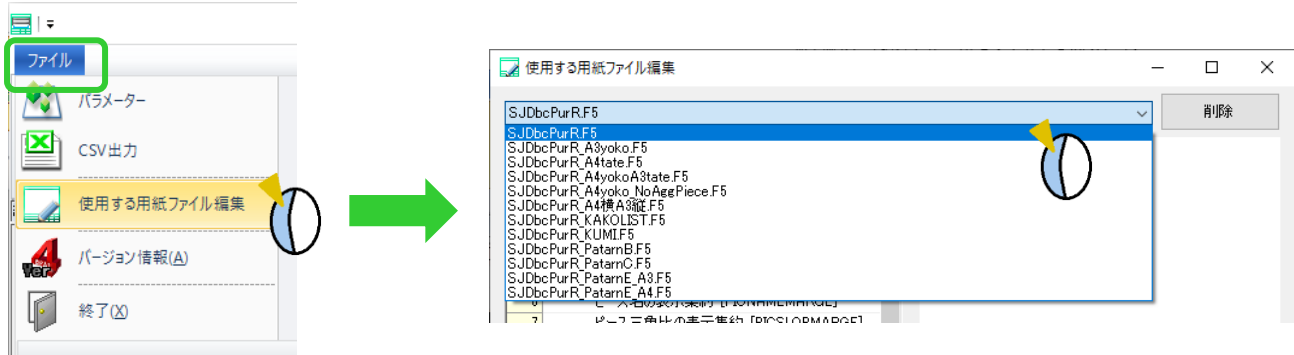
今回は、胴縁加工図の用紙ファイルを編集します。

【加工図・型紙・帳票】 - 【母屋胴縁加工図】をクリックします。



【ファイル】 - 【使用する用紙ファイルの編集】を選択します。

使用する用紙ファイル編集画面が起動します。一番上のプルダウンより編集する用紙ファイルを選択します。



【簡略作図】 - 【36.ボルト図サイズ】を変更します。

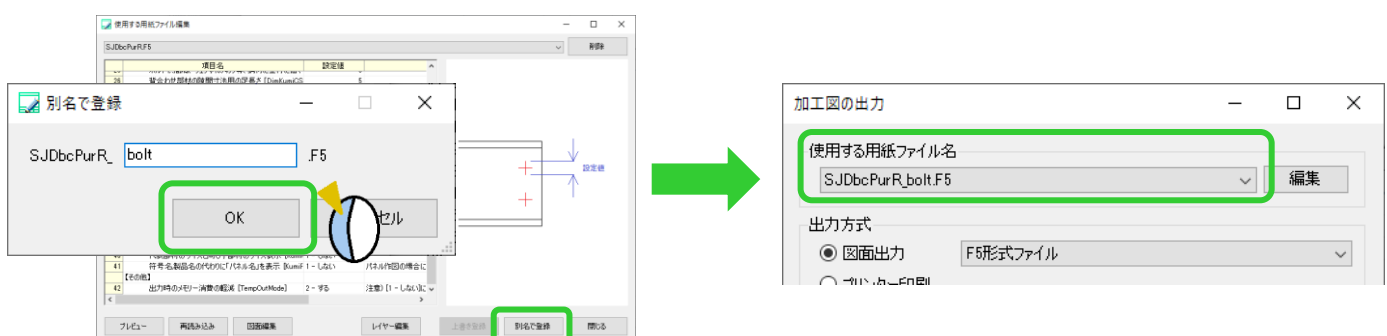
【簡略作図】			
31	作図長さモード [DefoLengthMode]	1 - 自動	[1 - 自動][2 - 自動2]の場合は[作図長さ]の値を元に部材長さによって可変します
32	作図長さ [DefoW]	190	
33	最小作図長さ [DefoWmin]	0	作図長さモードが[2 - 自動2]の場合に有効です。 0=自動(作図長さの1/4)
34	作図縦幅モード [DefoHeightMode]	1 - 自動	[1 - 自動]の場合は[作図縦幅]の[基本値Web]の値を元に自動計算します
35	作図縦幅 [DefoH]	10/6/0	[基本値Web]/[基本値Fle]/[PLFB] (例外)X/0/0 X値を基準にして比率で作図します
36	ボルト図サイズ [DefoBoltSize]	2	値を大きくした場合、ボルト図どうしが重なる場合があります。
37	部材板厚 [DefoB]	0.5/0.5/2	[基本値WT]/[基本値FT]/[基本値リップサイズ] 値を大きくした場合、重なったり見栄えが悪くなります。
38	部材図と断面図の間隔 [KakoBuzaiSpaceSec]	15	加工図の簡略作図時のみ有効



【36.ボルト図サイズ】を1から2へ変更した場合、半径2で作図していたものは半径4で作図されます。  
作図したボルトの絵の中心位置は変わらないため、作図を大きくするとボルト図が重なる場合があります。

別名で登録をクリックし、ファイル名を入力してOKをクリックして保存します。

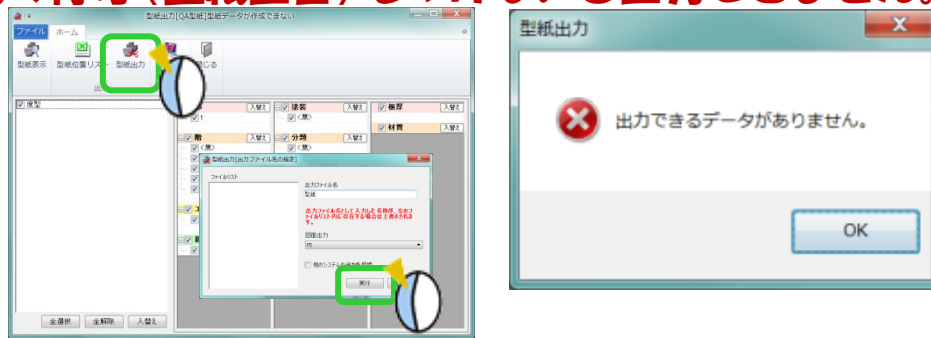
胴縁加工図を出力する際に、新しく登録したファイルを選択して出力を行ってください。





## 型紙出力時にエラーメッセージが表示され、出力できない！

**型紙の符号（型紙図番）をつけないと出力できません。**

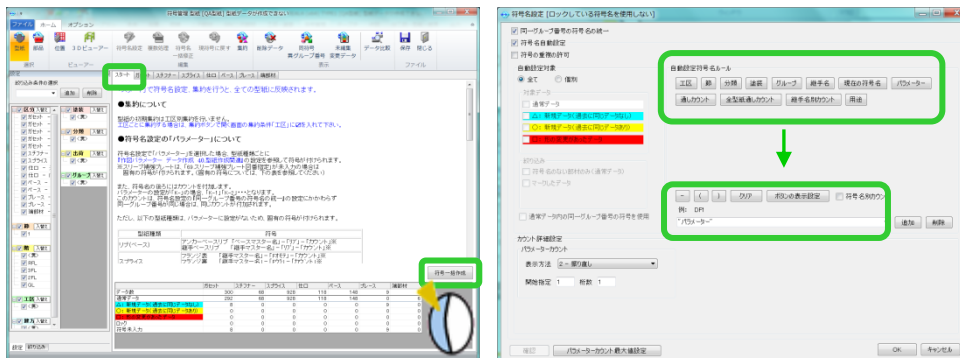


型紙に符号（型紙図番）をつけるには、【符号管理】 - 【型紙】を行って下さい。



【符号を一括でつけるには】・・・「スタート」タブより、「符号一括作成」をクリックし、

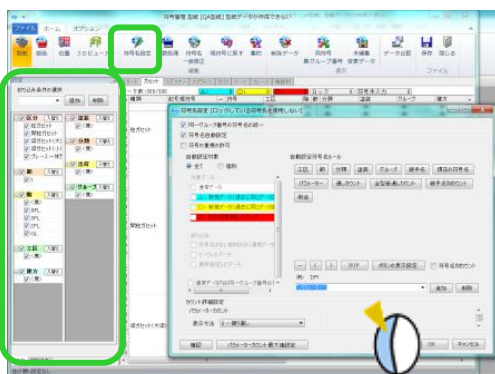
「自動設定符号名ルール」よりルールを選択し「OK」をクリック



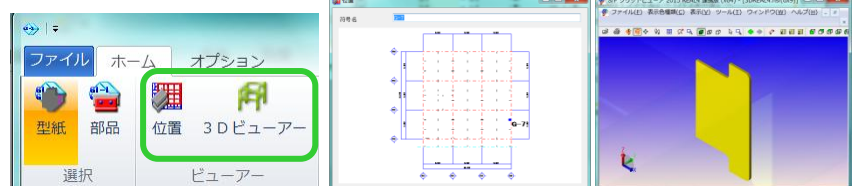
【自動設定符号名ルール】より『パラメータ』を選択すると、REAL4 入力画面内の【ファイル】 - 【パラメータ】 - 【データ作成関連】 - 【型紙作成関連】 - 各指定フラグ/図番より、柱付ガセットはC-1 から、大梁付ガセットはG-1 から付けたい など接頭文字を指定し、まとめてつけることが可能です。

【個別に付けたい場合は】・・・「ガセット」などの各タブを開き、「符号名設定」をクリックし、

画面左側の絞込より、区分や階・工区ごとに分けての設定も可能です



各型紙が使用されている位置を知りたい場合は「位置」や「3Dビュー」で確認できます



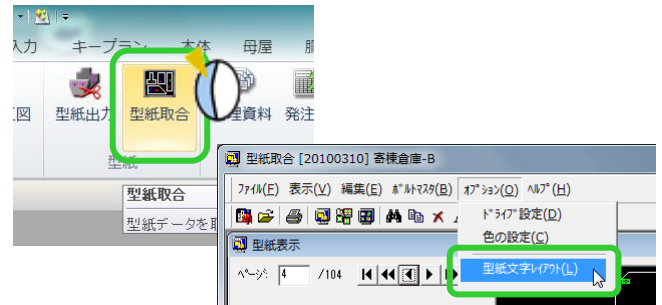


## 型紙に表記されている内容や線色を変更したい！ 型紙取合の画面で変更できます。

【加工図・型紙・帳票】 - 【型紙取合】をクリックします。

型紙に表記されている項目を変更する場合

【オプション】 - 【型紙文字レイアウト】をクリックします。

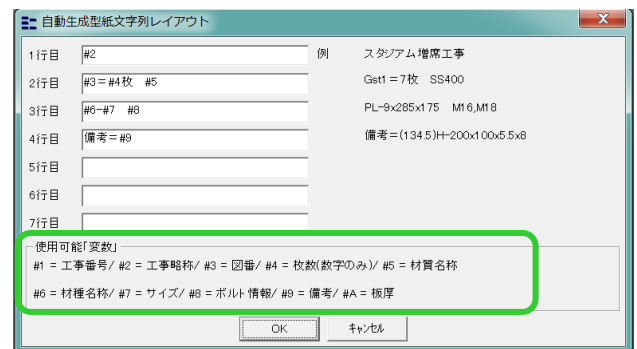


### 【自動生成型紙文字列レイアウト】

型紙内に表示させたい内容を「使用可能変数」から組み合わせて下さい。

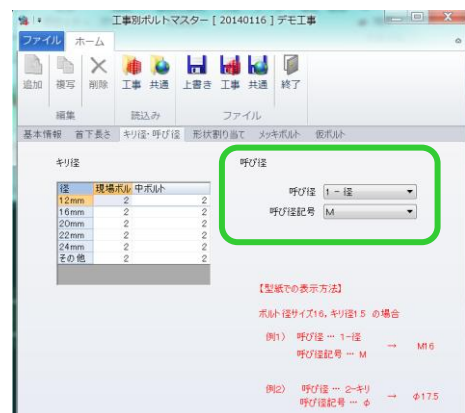
右図の例では1行目に「#2」と設定したので

「工事略称」(工事管理で設定したもの)が表記されます。  
同様に必要な行数分の設定をしてください。



「#8=ボルト情報」で  
ボルト径が表示するかキリ径が表示するかは  
【工事別ボルトマスタ】 - 【キリ径・呼び径】  
の設定に依存します。

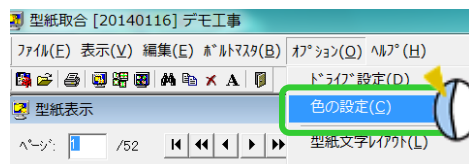
型紙取合後に設定を変更した場合、  
再度型紙出力から行わないと反映しません。



型紙の線色を変更したい場合

【オプション】 - 【色の設定】をクリックします。

それぞれの項目で、任意の線色に変更できます。





# 管理資料で絞り込んで出力したい！

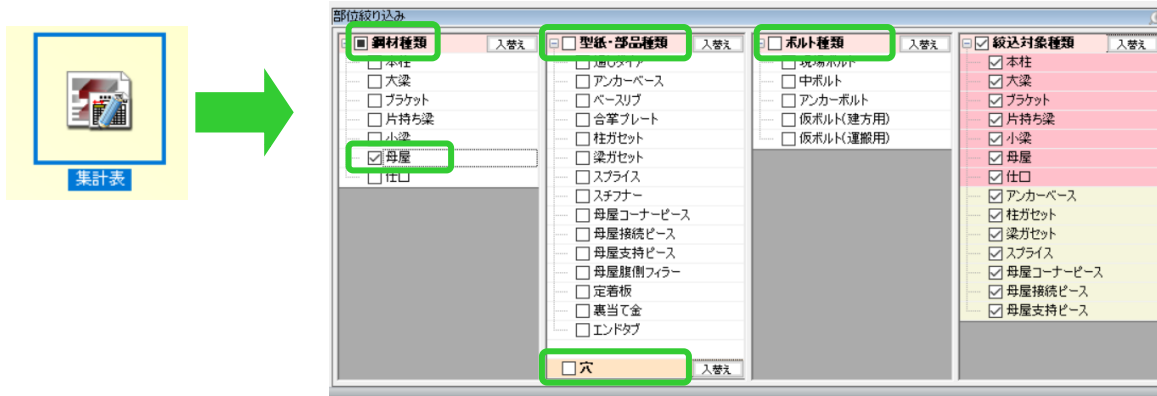
**チェックボタン☑で部材ごとに絞込ができます。**

例) 母屋として使用した鋼材のみ集計表に出力したい。

【加工図・型紙・帳票】 - 【管理資料】 - 【集計表】の集計表をクリックします。

部位絞り込みで、鋼材種類の入替えをクリックして☑を全て外し、母屋のみ☑を入れます。

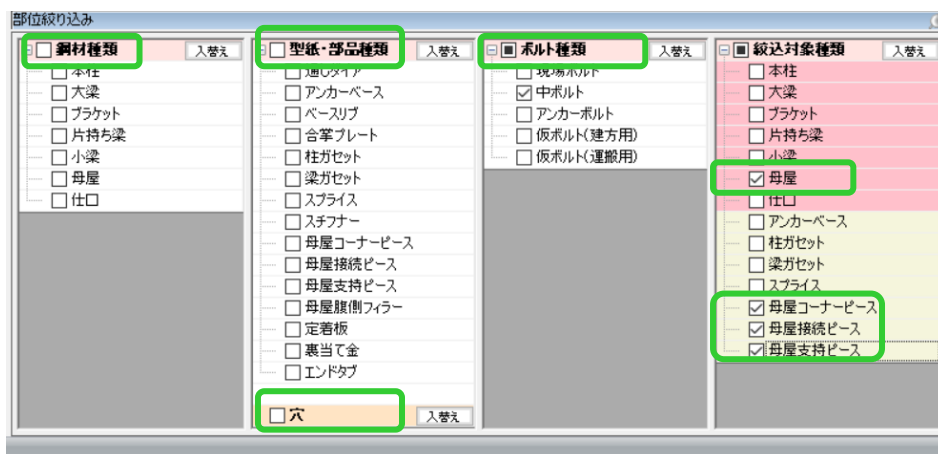
型紙・部品種類、穴、ボルト種類の入替えをクリックして☑を全て外し出力すると、母屋鋼材のみ出力されます。



例) 母屋に使用している中ボルトのみ集計表に出力したい。

部位絞り込みの鋼材種類、型紙・部品種類、穴、ボルト種類の入替えをクリックして☑を全て外します。

ボルト種類で中ボルトのみ☑を入れます。絞込対象種類で、母屋・母屋コーナースタップ・母屋接続ピース・母屋支持ピースに☑を入れて出力すると、母屋に使用したボルトのみ出力されます。

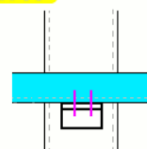


～大梁に取りつく母屋ピースのボルトのみ集計したい場合～

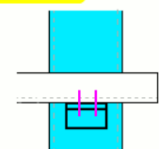
管理資料パラメーター - 帳票パラメーター - 胴縁・母屋ボルト算入方法＝「2-ピース」にして上書き保存で閉じます。絞込対象種類で、大梁と母屋接続ピース、母屋支持ピースに☑を入れると、大梁につくピースのボルトだけを集計してきます。

共通	共通パラメーター	項目名称	設定値
帳票別	1.帳票パラメーター	16 胴縁・母屋ボルト算入方法	2-ピース
		17 ヘッダー出力設定	2 - 絞り込み
		18 エンドタブ出力	2 - あり

1.鋼材



2.ピース





## 発注書を工区別や階別に出力したい！

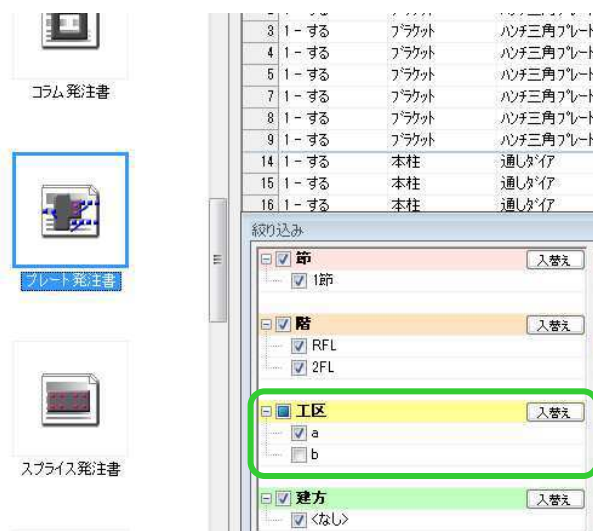
**絞り込みをして出力ができます。**

【型紙・加工図・帳表】 - 【発注書】をクリックし、出力したい帳表を選択します。



例) a 工区のみプレート発注書を出したい場合

【絞り込み】 - 【工区】の出力したい工区だけに☑を付け、出力してください。



出力する帳表によって絞り込み設定が変わります。  
ご希望の出力内容に合わせて絞り込みを行ってください。





# 工区を分けずにボルト発注書を出力したい！

## パラメーターで設定できます。

年 月 日 発注明細書(ボルト用)												
工事名	基本入力マニュアル【Step 1】										材質	ABR
発注先名											納入先名	材質 ABR490
No	工区	ざり径	長さ(mm)	数量	重量(kg)	汎用	補足	総数	スクリュー用	現場用	工区	
1	A工区	20	600	8	12.1							
2	B工区	20	600	16	24.2							



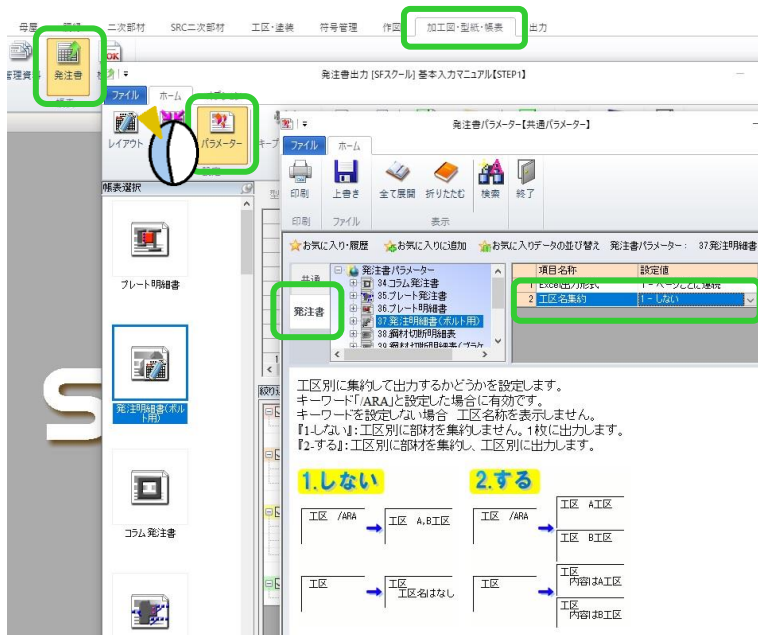
年 月 日 発注明細書(ボルト用)												
工事名	基本入力マニュアル【Step 1】										材質	ABR
発注先名											納入先名	材質 ABR490
No	ざり径	長さ(mm)	数量	重量(kg)	汎用	補足	総数	スクリュー用	現場用	在庫より		
1	20	600	24	36.2						工場	現場	

【加工図・帳票・型紙】 - 【発注書】 - 【パラメーター】 をクリックします。

【発注書】 - 【37.発注明細書(ボルト用)】 - 2.) 工区名集約 を『1.しない』 にします。

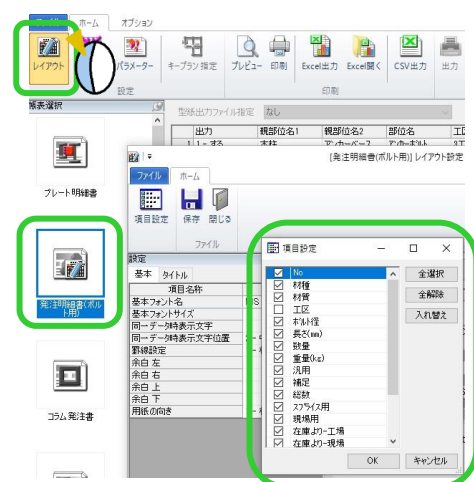
【共通】 - 【1.帳票パラメーター】 - 12) 工区参照 を『1.なし』 にします。

パラメーターを保存し、再度ボルト発注書を出力してください。



帳票内の工区の項目自体が不要な場合、  
【発注書】 - 【発注明細書(ボルト用)】を  
選択した状態で【レイアウト】 - {項目設  
定} をクリックすると、項目の表示/非表示  
の設定ができます。

チェックを外すと、項目自体が発注書から  
削除されます。



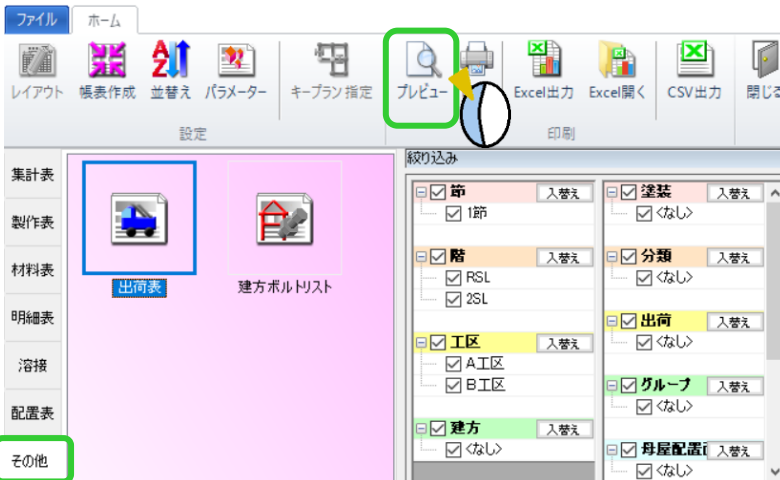
共通		項目名称	設定値
発注書	1. 帳票パラメーター	10 同一データ表示設定	2 - する
		11 溶接長指定	2 - 溶接実長
		12 工区参照	1 - なし

## 工区別の重量を知りたい！ 管理資料で確認できます。

【加工図・型紙・帳票】 - 【管理資料】をクリックします。



【その他】 - 【出荷表】を選択し、【プレビュー】をクリックします。出荷表の1ページ目で確認できます。



出荷表 2019/9/11 1ページ

工事番号: Q&A 工事名称: ○○○新築工事

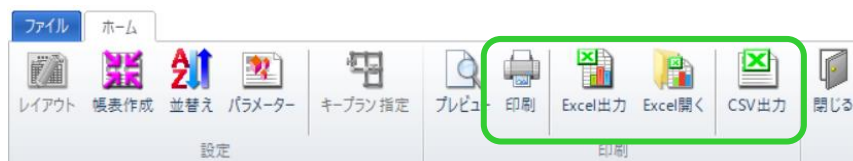
工区	本柱	間柱	大梁	小梁	合計	重量合計
A工区	4	4	8	16	32	8,751.2
B工区	2		6	12	20	4,518.2
合計					52	13,269.4

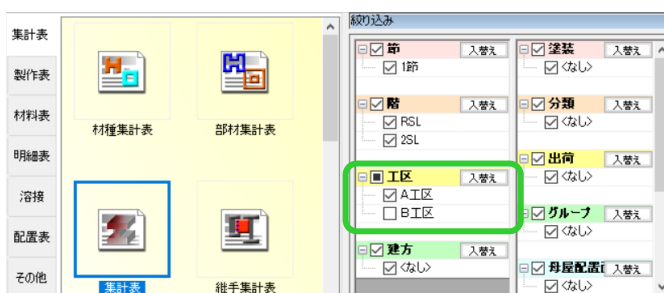
工区	種別	製品番号	寸法	長さ(mm)	台数	種
A工区	本柱		□-300x300x19	7,450.7	1	
A工区	本柱		□-300x300x19	7,703	1	
A工区	本柱		□-300x300x19	7,703	1	
A工区	本柱		□-300x300x19	7,450.7	1	
A工区	間柱		□-100x100x2.3	3,170	1	
A工区	間柱		□-100x100x2.3	3,470	1	
A工区	間柱		□-100x100x2.3	3,535	2	
A工区	大梁		H-300x150x6.5x9	4,155	2	
A工区	大梁		H-300x175x7x11	2,438	1	



【プレビュー】で確認したレイアウトをそのまま印刷やExcel出力・CSV出力することができます。  
(帳票によっては、【印刷】、【Excel出力】に対応していないものもあります)



工区ごとの重量は、絞り込みで必要な工区に☑を入れ、他の帳票でも確認することができます。



集計表 2019/9/11 5ページ

工事番号: Q&A 工事名称: ○○○新築工事  
部: 1部 階: GL~RSL 工区: A工区


No	材質	寸法	長さ(mm)	台数	重量(kg)	i
85	F4T	BTN-M16x55		72	11.5	板
86	F4T	BTN-M20x50		2	0.5	板
87	F4T	BTN-M20x55		12	3.3	板
88	F4T	BTN-M20x55		6	1.7	板
89	F4T	BTN-M20x60		24	6.9	板
90	F4T	BTN-M20x60		18	5.2	板
				合計	1,422	8,750.4


テンプレートファイルを Arris3 で編集すると可能です。

SFSsystem¥SF\_REAL4¥Master¥LNL-Chart¥Template¥SJcolumnR.F5



表示(V) 補助点(A) 線(L) 矩形


 拡張表示機能

 表示移動(M)

 表示拡大(Z)

 表示縮小(D)

 再表示(G)


 全域表示(A)

 前倍率表示(B)

 要素照会(R) Ctrl+R

 計測(S) Ctrl+E

Font (フォント) dialog box showing the 'Font' (文字) field highlighted in green, containing the text '/MATSU-7'.

発注先	/HAT: 56	
納入場所	/NOU: 56	
部材名	材種	寸法 (m / n
/MATS: 16	ILD-71	5/ SIZE: 38
		
		\$ PARA= Numb

同様に、**部材名**と書かれている部分も**符号名**に書き換えます。

発注先	/HAT : 56	
納入場所	/NOU : 56	
部材名	材種	寸法 (
/MATS : 1151D-7	5/SIZE : 3	



発注先	/HAT : 56	
納入場所	/NOU : 56	
符号名	材種	寸法 (
/FUGS : /K5ID-71	SIZE : 3	
		\$ PARA =



Ver2.0 以降、他バージョンとの併用が可能なため、併用している場合は各バージョンでフォルダーが異なります。各 SF RER4 フォルダー内のファイルを書き換えてください。

- SF REAL4
- SF REAL4\_1.8
- SF REAL4\_2.01





## コラム発注書で符号名を表示したい！

**テンプレートファイルを Arris4 で編集すると可能です。**

SF Arris4 を起動し、コラム発注書のテンプレートファイル（SJcolumnR.F5）を編集します。

【ファイル】 - 【図面読み込み】 より使用している用紙ファイルを読み込みます。

ファイルの保存場所は C ドライブ（REAL4 のインストール先のドライブ）内の

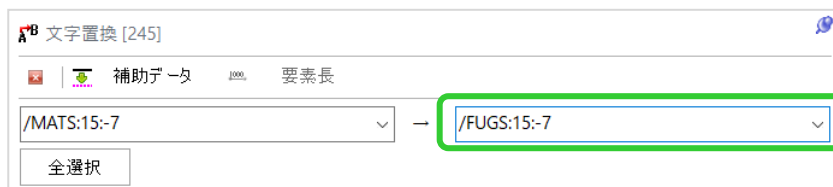
SFSystem¥SF REAL4¥Master¥LNL-Chart¥Template となります。



【図面】 - 【文字置換】 をクリックします。図面上の/MATS:15:-7 の文字列をクリックします。



入力シート欄に、/FUGS:15:-7 と入力し四隅の☑ をクリックして文字を置き換えます。



同様に**部材名**と書かれている部分も**符号名**に置き換え、テンプレートファイルを上書き保存します。

発注先	／HAT：56	
納入場所	／NOU：56	
部材名	材種	寸法（m／m）
／MATS：1161D-715	SIZE：38	

発注先	／HAT：56	
納入場所	／NOU：56	
符号名	材種	寸法（m／m）
／FUGS：1161D-715	SIZE：38	



C ドライブ内の SFSystem¥SF REAL4¥Master¥LNL-Chart¥Template 内にある

【発注書テンプレートキー.xls】では、コラム発注書で使用しているテンプレートファイルが確認できます。

	ファイル名	パス
テンプレート	OrderCol2.xlsx SJColumnR2.F5	~¥Master¥LNL-Chart¥Template¥

また、コラム発注書のテンプレートファイルで追加・変更できる項目に対応するキーが確認できます。

項目	キー
日付	/DAT
ページ数	/PAG
コラム発注書の図	/ZU
工事番号	/KNO
工事名称	/KNA
材質	/ZAI
工区	/ARA
分類	/NOD
グループ	/GRP
建て方	/BLD
出荷	/SHP
塗装	/PIN

Excel のシートの切り替えをすることによって各発注書のテンプレートファイルやキーを確認できます。



# デッキプレート面積の計算方法を知りたい！

## デッキプレートの種類によって異なります。

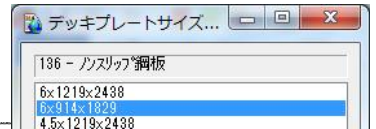
デッキプレートのサイズが板厚×縦×横のマスターの場合・・・延べ面積 を表示します。

例) 材種 CD 136-ノンスリップ鋼板

集計表

工事番号: デモデータ1 工事名称: デモデータ1  
階: GL~PHR 節: 1節~2節 工区: 全工区 分類: 全分類 グループ: 全グループ

No	材質	寸法	長さ(mm)	台数	表面積(m <sup>2</sup> )	重量(kg)	部位名
1	SS400	ノンスリップ PL-6x914x1829	9,333.3	8	249.6	5,883.7	デッキプレート

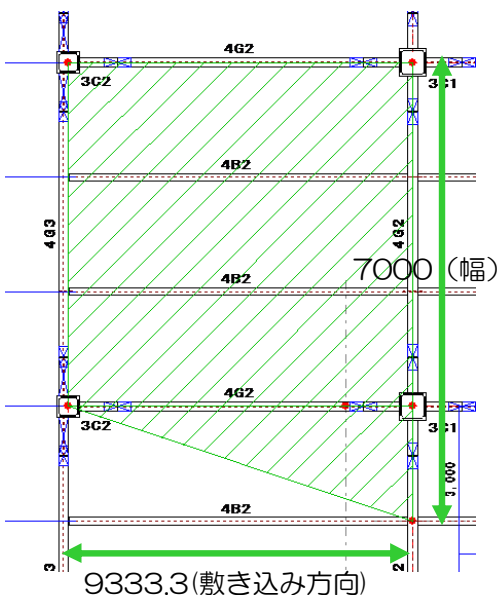


デッキプレート台数は、デッキ範囲の幅÷デッキプレート 1 枚あたりの幅 で求めます。

表面積は、単位表面積×長さ×台数 で求めます。

デッキ範囲の幅 7000 ÷ デッキプレート 1 枚あたりの幅 914 = 7.658・・・→ 8 台

単位表面積 3.3434 × 敷き込み方向 長さ 9333.3 × 台数 8 = 249639.6÷1000 = 249.6



延べ面積は、

デッキプレートの波型をフラットにした状態です。

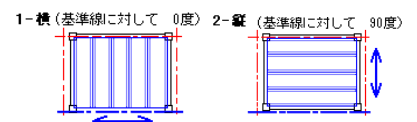
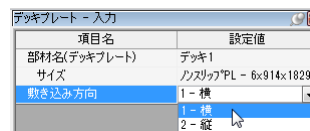


単位表面積は

共通部材マスター — 部材マスターで確認できます。



敷き込み方向はデッキプレート入力時に設定します。



デッキプレートのサイズが板厚のマスターの場合・・・実面積 を表示します。

例) 材種 CD 131-床用鋼板

集計表

工事番号: デモデータ1 工事名称: デモデータ1  
階: GL~PHR 節: 1節~2節 工区: 全工区 分類: 全分類 グループ: 全グループ

No	材質	寸法	長さ(mm)	台数	表面積(m <sup>2</sup> )	重量(kg)	部位名
1	SS400	CHPL-6x7000x9333.3		1	57.2	2,788	デッキプレート



デッキプレート配置時に囲んだ領域の実面積 57.2 m<sup>2</sup> を表示します。

実面積は、【二次部材】 - 【デッキプレート】 - 【デッキプレート面積】 で確認ができます。

階	部材名	サイズ	デッキプレート面積(m <sup>2</sup> )	デッキプレート範囲数
4FL	DP	CHPL-6	57.167	1

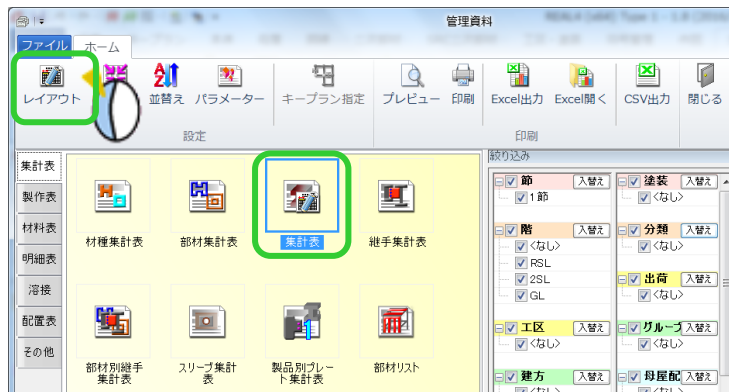


## 管理資料の項目を増やしたい！

レイアウトにて表示させる項目の設定が可能です。

出力したい帳票を選択し、【レイアウト】をクリックします。

(例)集計表



【項目設定】をクリックし、追加したい項目に ☒ を入れ、【OK】をクリック

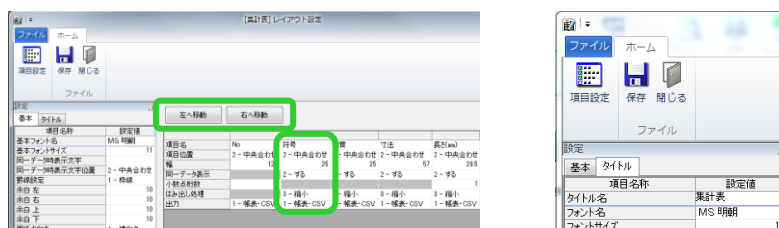
(例)「符号」を追加



【プレビュー】【印刷】【CSV出力】にて追加・変更した項目が反映されます（Excel出力には反映されません）



【レイアウト】設定では、表示する項目以外にも順番の入替やタイトルなどの変更も行えます



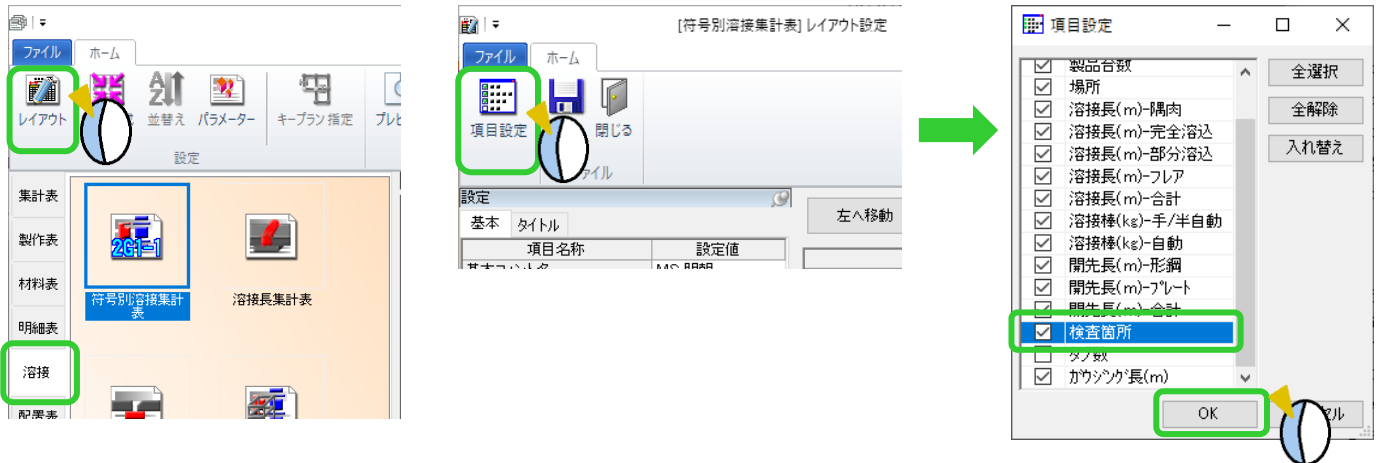
※順番を入れ替えるには、移動する項目を一旦クリックしてから、【左へ移動】または【右へ移動】にて調整が可能です。

## UTの箇所数を知りたい！

### 管理資料の符号別溶接集計表で確認できます。

【加工図・型紙・帳票】 - 【管理資料】を開き、【溶接】タブの『符号別溶接集計表』を選択します。

【レイアウト】をクリックし、【項目設定】をクリックして【検査箇所】に☑を入れ、【OK】をクリックします。



【プレビュー】をクリックすると、符号別溶接集計表のプレビューを表示します。

【検査箇所】が追加されたことを確認します。



印刷・CSV出力・Excel出力でも追加した項目の確認が可能です。

帳表によってはExcel出力未対応ですのでご注意ください。



項目を追加したことにより、用紙サイズからはみ出す場合があります。

【レイアウト】で不要な項目のチェックを外すか、各項目の幅サイズ等を変更して調整してください。

開先長 (m)				検査箇所
形鋼	プレート	合計		
0.912	10.396	11.308	20	
0.912	10.796	11.708	22	
0.912	11.046	11.958	24	



開先長 (m)				検査箇所
形鋼	プレート	合計		
0.912	10.396	11.308	20	
0.912	10.796	11.708	22	
0.912	11.046	11.958	24	

# プレート(型板)発注書を出したい！ 発注書より出力することができます。

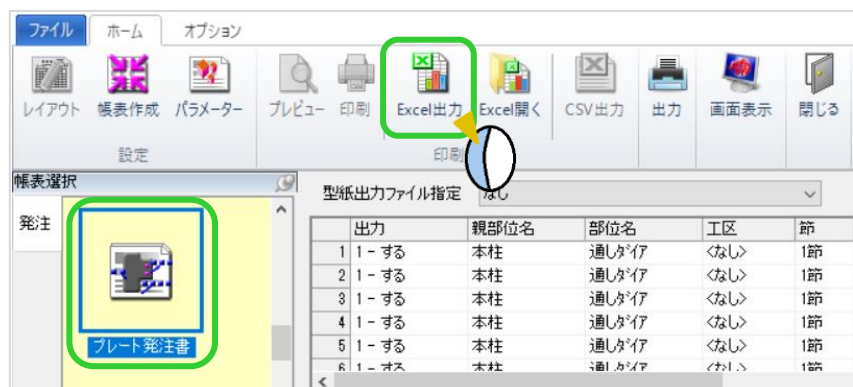
プレート発注明細書 (梁ガセット)

工区	部材	数量	単位	規格	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	PL-0101	1	枚	PL-0101	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
2	PL-0102	1	枚	PL-0102	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
3	PL-0103	1	枚	PL-0103	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
4	PL-0104	1	枚	PL-0104	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
5	PL-0105	1	枚	PL-0105	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
6	PL-0106	1	枚	PL-0106	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
7	PL-0107	1	枚	PL-0107	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
8	PL-0108	1	枚	PL-0108	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
9	PL-0109	1	枚	PL-0109	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
10	PL-0110	1	枚	PL-0110	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
11	PL-0111	1	枚	PL-0111	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
12	PL-0112	1	枚	PL-0112	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
13	PL-0113	1	枚	PL-0113	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
14	PL-0114	1	枚	PL-0114	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
15	PL-0115	1	枚	PL-0115	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
16	PL-0116	1	枚	PL-0116	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
17	PL-0117	1	枚	PL-0117	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
18	PL-0118	1	枚	PL-0118	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
19	PL-0119	1	枚	PL-0119	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
20	PL-0120	1	枚	PL-0120	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
21	PL-0121	1	枚	PL-0121	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
22	PL-0122	1	枚	PL-0122	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
23	PL-0123	1	枚	PL-0123	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
24	PL-0124	1	枚	PL-0124	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
25	PL-0125	1	枚	PL-0125	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
26	PL-0126	1	枚	PL-0126	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
27	PL-0127	1	枚	PL-0127	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
28	PL-0128	1	枚	PL-0128	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
29	PL-0129	1	枚	PL-0129	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
30	PL-0130	1	枚	PL-0130	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
31	PL-0131	1	枚	PL-0131	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
32	PL-0132	1	枚	PL-0132	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
33	PL-0133	1	枚	PL-0133	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
34	PL-0134	1	枚	PL-0134	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
35	PL-0135	1	枚	PL-0135	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
36	PL-0136	1	枚	PL-0136	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
37	PL-0137	1	枚	PL-0137	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
38	PL-0138	1	枚	PL-0138	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
39	PL-0139	1	枚	PL-0139	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
40	PL-0140	1	枚	PL-0140	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
41	PL-0141	1	枚	PL-0141	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
42	PL-0142	1	枚	PL-0142	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
43	PL-0143	1	枚	PL-0143	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
44	PL-0144	1	枚	PL-0144	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
45	PL-0145	1	枚	PL-0145	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
46	PL-0146	1	枚	PL-0146	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
47	PL-0147	1	枚	PL-0147	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
48	PL-0148	1	枚	PL-0148	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
49	PL-0149	1	枚	PL-0149	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
50	PL-0150	1	枚	PL-0150	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
51	PL-0151	1	枚	PL-0151	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
52	PL-0152	1	枚	PL-0152	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
53	PL-0153	1	枚	PL-0153	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
54	PL-0154	1	枚	PL-0154	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
55	PL-0155	1	枚	PL-0155	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
56	PL-0156	1	枚	PL-0156	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
57	PL-0157	1	枚	PL-0157	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
58	PL-0158	1	枚	PL-0158	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
59	PL-0159	1	枚	PL-0159	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
60	PL-0160	1	枚	PL-0160	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
61	PL-0161	1	枚	PL-0161	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
62	PL-0162	1	枚	PL-0162	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
63	PL-0163	1	枚	PL-0163	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
64	PL-0164	1	枚	PL-0164	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
65	PL-0165	1	枚	PL-0165	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
66	PL-0166	1	枚	PL-0166	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
67	PL-0167	1	枚	PL-0167	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
68	PL-0168	1	枚	PL-0168	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
69	PL-0169	1	枚	PL-0169	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
70	PL-0170	1	枚	PL-0170	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
71	PL-0171	1	枚	PL-0171	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
72	PL-0172	1	枚	PL-0172	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
73	PL-0173	1	枚	PL-0173	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
74	PL-0174	1	枚	PL-0174	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
75	PL-0175	1	枚	PL-0175	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
76	PL-0176	1	枚	PL-0176	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
77	PL-0177	1	枚	PL-0177	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
78	PL-0178	1	枚	PL-0178	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
79	PL-0179	1	枚	PL-0179	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
80	PL-0180	1	枚	PL-0180	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
81	PL-0181	1	枚	PL-0181	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
82	PL-0182	1	枚	PL-0182	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
83	PL-0183	1	枚	PL-0183	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
84	PL-0184	1	枚	PL-0184	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
85	PL-0185	1	枚	PL-0185	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
86	PL-0186	1	枚	PL-0186	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
87	PL-0187	1	枚	PL-0187	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
88	PL-0188	1	枚	PL-0188	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
89	PL-0189	1	枚	PL-0189	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
90	PL-0190	1	枚	PL-0190	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
91	PL-0191	1	枚	PL-0191	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
92	PL-0192	1	枚	PL-0192	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
93	PL-0193	1	枚	PL-0193	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
94	PL-0194	1	枚	PL-0194	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
95	PL-0195	1	枚	PL-0195	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
96	PL-0196	1	枚	PL-0196	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
97	PL-0197	1	枚	PL-0197	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
98	PL-0198	1	枚	PL-0198	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
99	PL-0199	1	枚	PL-0199	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット
100	PL-0200	1	枚	PL-0200	1.70 m	1.47 m	6mm	0.015	梁ガセット

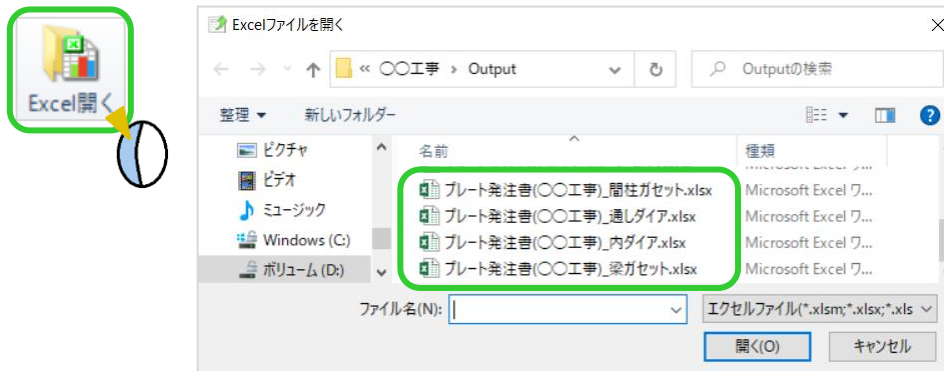
【加工図・型紙・帳票】 - 【発注書】をクリックします。



帳票選択より【プレート発注書】を選択し、【Excel 出力】をクリックしてプレート発注書を出力します。

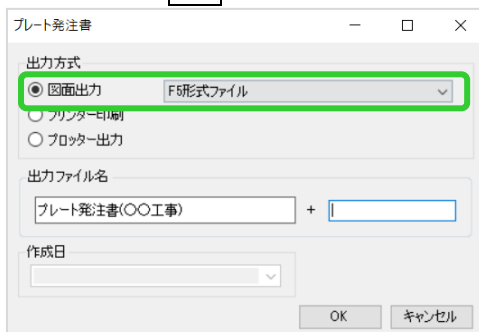


【Excel 開く】をクリックし、出力された発注書を確認します。



発注書ではガセットのみや工区別など絞り込んで出力することが可能です。絞り込みの使い方については、Q&A『発注書を工区別や階別に出したい！』(Q&A Vol.7-3)をご確認ください。

プレート発注書はF5・F6xなどの図面形式でも出力が可能です。【出力】よりファイル形式を指定して、【OK】をクリックし出力します。



【加工図・型紙・帳票】 - 【型紙出力】にて型紙を出力する際に、ダイアフラムのみ、板厚 6mm のガセットのみ、など絞り込んだ状態のファイルを作成しておくことで、『プレート発注書』出力時に「型紙出力ファイル指定」で型紙出力時に絞り込んだ状態でプレート発注書を出力することが可能です。プレート発注書出力時に改めて絞り込み指定をせずに出力することができます。

型紙出力ファイル指定 〇〇工事-PL6ガセット